

自治協ニュース

第0408号
発行者
八本松住民自治協議会
R04. 12. 20

ペタンク大会

体育振興部会

12月11日(日)に八本松住民自治協議会体育振興部会(部会長 中曾義孝)は八本松小学校体育館でペタンク大会を開催した。優勝者、上位成績者には来年開催予定の「市民スポーツ大会」参加へ優先的に招待される。



各コートに分かれ試合を行う参加者



目標球(ビュット)を狙う



目標球までの距離を測定する審判員



フランスが発祥のだけでも楽しめるスポーツ、ペタンクは「ビュット」と呼ばれる黄色い目標球に「ボール」と呼ばれる球を投げあい、相手より近づけることで得点を競いあう。今回で3回目となるペタンク大会は大人から子供まで気の合う者同士、家族など3名でチームを作り、計18チーム54名がトーナメント方式で優勝目指して競い合った。中曾部会長は「興奮したり、感動を覚えたりと本当に素晴らしいスポーツだと思う。住民自治協議会18自治会で対抗戦を行うなどして地域をさらに活性化する。そういう思いも胸に秘めている。」と終わりの言葉を述べた。



上位表彰者(右から優勝、2位、3位、敗者復活)

日付	行事内容	場所
12月22日(木)	絵手紙教室	八本松小学校
2月19日(日)	福祉講演会	八本松地域センター

地域行事予定

小学5年生 防災学習

楽しく体験「段ボールベッド、防災クイズ」

八本松住民自治協議会(会長 土久岡 章治) 防災委員会(委員長 牧野 美三夫)は八本松小学校体育館にて9月に続き、小学5年生防災学習を開催。今回は児童に避難所又は避難生活に使用が想定される段ボールベッドなど防災グッズを体験した。



グループ全員で段ボールベッドを組み立て

今回の防災学習では広い体育館を利用して5年生児童が各クラス2グループに分かれ、段ボールベッドを製作。作業前に組み立て方を動画で確認し、協力しながら完成させた。出来

上がったベッドに座る際、思ったより強度があることに驚きながら座ったり、寝転んだりした。この他、6リットルの水を入れた給水リュックを實際に背負い、重さの確認。土久岡



ほぼ全員が座っても潰れない強さを持っている

会長が持参したマイ防災リュックの中身を披露。計45点の推奨される防災グッズを展示した。又、市社会福祉協議会による防災クイズで家庭にあるもので災害時に転用できるものの確認を行った。生徒の代表者は「今日学んだことや調べた事



6リットルの水が入ったバッグを背負う児童

を家族にも伝えて、防災の意識を高めていきたいです。」とお礼の言葉を述べた。土久岡会長は「今日、防災につ

曾場ヶ城山 登山

青少年育成部会

八本松住民自治協議会、青少年育成部会(部会長 中森幸恵)は12月3日(土)、小学校を発着点とした曾場ヶ城山への登山を開催。35名が参加し、頂上を目指した。

青少年育成部会、八本松八十八石山の会、賀茂高校レスリング部などの支援を得て、小学校児童11名(未就学児含む)は小学校グラウンドから登山を開始。途中、山中の供養塔や曾場ヶ城三の丸などを経由。急峻な上りや、両手足を使って登る岩場などに苦労しながらも、楽しく登頂した。登頂した児童は休憩中も山頂広場を駆け巡り元気いっぱい全員無事下山した。



供養塔前で休憩



(左)登山ルート/(右)急な登りを進む一行



防災訓練「体験できてよかった」

住民84人参加 八本松南地区/八本松南4・5地区 合同総合防災訓練



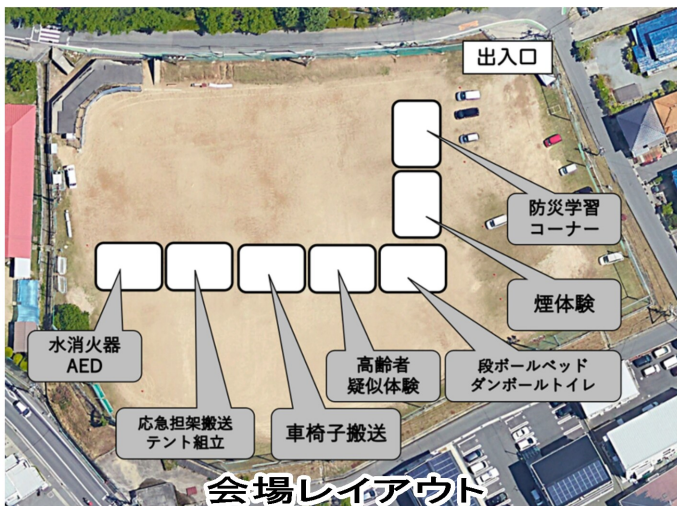
訓練前の説明を受ける参加者

八本松みなみ地区自主防災会(会長 横井 國興)、八本松南4・5地区自主防災会(会長 河本 真弓)は、12月4日(日)、毎年恒例となった八本松市民グラウンドにて合同総合防災訓練を開催した。

今年も両地区は合同で防災訓練を開催。訓練内容別にブース(初期消火、AED、応急搬送、車椅子搬送、高齢者疑似体験、段ボールベッド、トイレ、煙体験、防災学習コーナー)を設け、各個人が自由に回遊しながら訓練を実施。訓練終了後には、防災クイズを実施し、景品が手渡された。アンケート結果では「有意義な体験だった」、「地域の人が集まり、防災について関心をもちたい」など、地域住民からは満足した結果が得られた。開始時は小雨が降り、天候が心配されたが、地域住民参加者は84名(この他に訓練支援として消防署4名、社会福祉協議会4名が参加)であった。

体験ブース	概要
水消火器	水消火器での当て。消火器を疑似体験。
AED	消防署員指導でAEDとヒトの上半身模型で心肺蘇生訓練
応急搬送訓練、テント組立	毛布と竹で簡易担架搬送。ワンタッチで開くテント(収納練習がメイン)
車椅子搬送	障害が設けられたコースを数人で車椅子に乗った人を手助けしながら走行
高齢者疑似体験	プロテクター、重りで強制的に抑制し、高齢者の体を疑似体験
段ボールトイレ、ベッド	ダンボール製トイレ、ベッドの組立、解体
煙体験	煙(無害)の充満したテント内を通行。一部には壁に見立てた障害あり。
防災学習コーナー	ハザードマップ展示、家具の固定、転倒防止グッズ紹介

各ブースの訓練内容



(左)煙体験テント外観 (右)中に入る参加者



車椅子避難の支援訓練



水消火器訓練



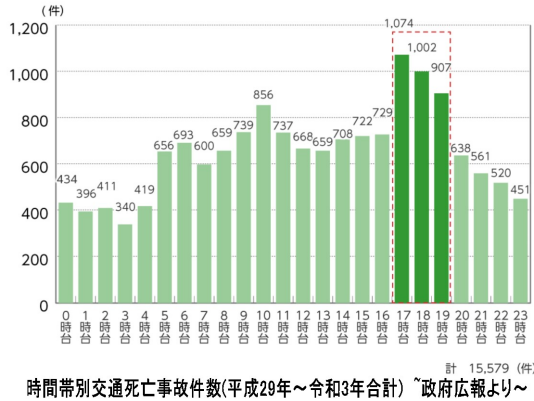
AEDと模型を使った心肺蘇生訓練

青パト台数68台

青パト講習会開催

八本松住民自治協議会(会長 土久岡 章治)自治会部会(部会長 常光 聡)は11月23日(水)八本松地域センターにて5月に続き、青色防犯パトロール(通称青パト)講習を開催。今回は新規、更新受講者計12名が受講した。

この受講で八本松小学校区内の青パト登録は68台となった。朝の登校の見守りだけでなく、17時から19時の薄暮時間帯は最も交通事故が多く発生しており、今後、多くの住民の参加や見守り活動の拡大が期待される。



主な地域名	青パト台数
宗吉	5台
大山ハイツ	5台
八本松北	3台
中央	16台
八本松南	4台
八本松南4・5	2台
七ツ池ハイツ	1台
日興苑	2台
イトーピア	4台
下組	4台

地域別登録台数



東広島警察署、防犯連合会の講習を受ける皆さん

複合施設建設委員会

複合施設視察

新地域センター建設に向けて

八本松住民自治協議会(会長 土久岡 章治)は11月24日(木)、広島県府中町にある府中公民館を視察。八本松中央幼稚園跡地に地域センター、八本松集会所、八本松出張所、消防団倉庫等を集約した複合施設が検討されていることから、類似施設である広島県府中町の府中公民館を視察した。



府中公民館(外観)

2022年度4月にオープンした府中公民館は、周囲よりやや低い位置にある1階に駐車場(62台)、創作室、陶芸が可能な電気窯、2階にはエントランス、大小ホール、吹き抜けのある図書コーナー、3階に和室、ビルトイン

コンロのある調理室を備えている。消防団用の倉庫も一階に設置されており、シャッターには纏(まとい)が描かれている。このほか、歴史民俗資料館では府中町の歴史と共に生活環境の変化が展示。入口床には町内の航空写真が貼り付けられている。

利用料金の収集には「券売機」が使用されており、今後既に一部町税徴収に使用されているスマートフォン決済アプリ(PayPay)導入も検討されているという。ただし、この場合は現在領収証発行がされておらず、導入には慎重な検討が必要と言われている。



開放的な吹き抜けがある図書スペース



消防団倉庫を視察一同



大ホール ~町HP~より